

町のうごき

本籍数	4,186
本籍人口	14,313
世帯数	2,860
住民登録人口	13,313
内 男女	6,593 6,740

10月1日現在

広報 てんのう

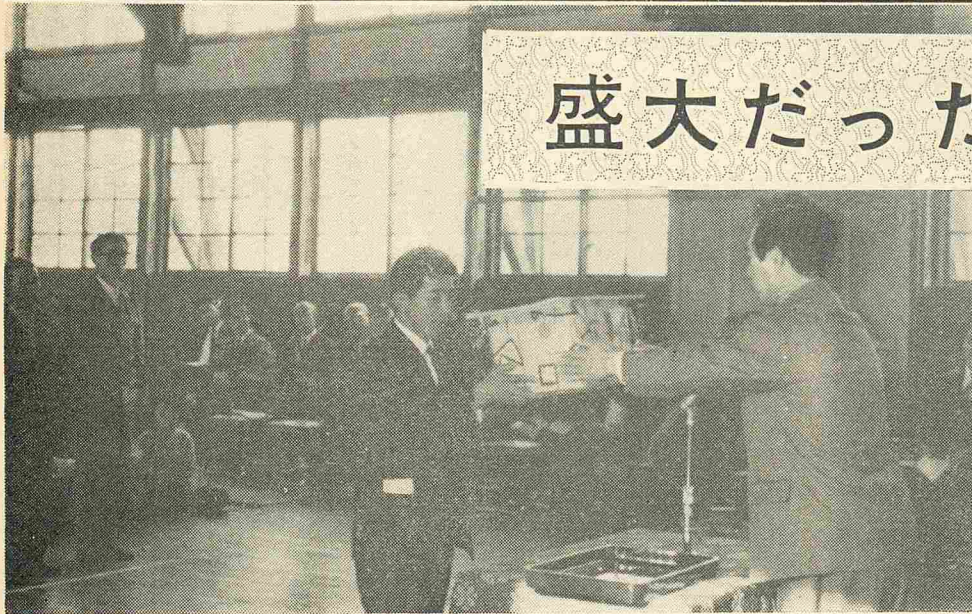
No. 57

昭和43年

12月1日発行

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135

編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL(一日市)38



▲授賞式風景

盛大だった産業祭

第三回産業祭は十月三十日から十一月一日までの三日間、天王小学校を会場に農産物など千八十五点を集めて開かれた。昨年に続き、豊作の年々を反映して一般参観者も初日から出足がよく、盛大に行なわれた。

▼書画展をみる主婦



▶審査風景



▶いいねぎだこと



本町で移動男鹿署

活発に話し合い

男鹿署(小松久署長)は同署初の試みとして、十一月十八日に本町(役場)で男鹿移動警察署を開設した。

町民とヒザをまじえて話し合い、ナマの意見や要望を聞いて今後の警察行政に反映させてゆこうというもので、男鹿署から署長はじめ各係長、派出所長など九名、町当局から町長、助役、教育長など六名、町民側から部落長、消防分団長、青少年健全育成世話人、小・中学校校長など四十名が出席した。

話し合いでは、まず署側から警察組織、交通事故・犯罪の発生状況の説明があったあと、出席者の質問に答える形で行なわれ、出席者から次のような意見や要望がだされた。

▼天王町は天王と船越の両派出所に分かれて担当されているために、交通安全運動など町全体を進める事業に障害がある▼火災発生の際、ヤジウマや火事見にきた車の駐車で消火活動がさまたげられている▼住民の数に対する警官が少ない▼上戸の駐在所に一般の電話がないため、事故、事件の届けや通報するの不便だ▼警官の勤務時間外にスピード違反の車が目立つので研究してほしい▼巡回の立ち寄り先は何年も同じ家だが、時代の変化に即応してかえるべきだ▼白バイが小路やヤブかげ

善意ありがとう

▼二田の船木音吉さん(六十歳)は、このほど町社会福祉協議会へ「妻キヨ不幸の際の香典返しです」と一万五千元を寄せられた。

にかくれて違反を検挙するといふようなやり方は改めるべきである。また、男鹿署側からは、天王町は他市町村にくらべて①交通安全、青少年健全育成などに対する町民の関心や認識が低い②犯罪では婦女手へのいたずらや酒に酔ってケンカするものなどが多いという話しがあった。



男鹿移動警察署

出戸小で孫と語る会

今年で八年も続く

出戸小学校(井川久一校長)と出戸地区分館の共催で恒例の「孫と語る会」を十月二十八日の出戸小創立八十周年記念に引き続き三十日、同校で開いた。出戸小学校地域の子どもと六十歳以上のおじいさん、おばあさんのついで、おばあさん以来八年も続いているもの。

当日は上出戸、下出戸、細谷出戸開拓、三軒屋、三枚橋、鶴沼台の各部落からこの日を楽しみにしていたおじいさん、おばあさん八十名が出席した。

消防駆けつけ 訓練大会

男鹿分区内消防機動力を動員し、大火の防圧を図るための総合訓練が、このほど本町で行なわれた。

これは「異常気象下で天王中学校から、午前九時五十分に出火」を想定し、延焼速度が早い大規模火災が予想され、これによる学校児童生徒および保育所園児の避難訓練、応援消防隊に対する水利部署誘導訓練などを目的としたもの。

この訓練には消防団員百五十名、消防車は男鹿市五台、日鉱一台、琴浜村一台、天王町二台計九台が参加して行なわれた。

このあと消防車、天王中ブラスバンドによる防火思想普及町内行進をしたあと、天王小グラウンドで閉会式を行ない、十一時十七分大きな成果をあげて全日程を終了した。



消防訓練風景

成人式を楽しく有意義に

町では、去る十一月十六日と二十五日に成人式該当者の代表十八名による代表者会議を開き期日や内容を検討した。

この結果、期日は成人の日である一月十五日がもっともよく、内容は、楽しく、意義あるものにするために、式典のほか、フォークダンス、グループによる話し合いや記念撮影などを盛りこむことになった。

県大会で惜敗

家庭バレーボール

このほど、家庭バレーボールを通じ、健康なからだ、健全な人間関係をつくることを目的として、第一回男鹿市・南秋田郡の家庭バレーボール大会が五城目町で催され、主婦・若妻の部ともにみごと優勝した本町チームが十一月二十日新装なった県立体育館での全県大会に出場した。

当日は町長をはじめ、多くの応援団もかけつけたが、平鹿郡増田チームに二対一・鹿角郡小坂チームに二対一とともに惜敗はしたが会場の観衆から本町チームの善戦に万雷の拍手を送っていた。

なお、参加役員選手名は次のとおり。

- ▼団長 渡部ツナ(婦人会長)
- ▼監督 児玉長栄(体指会長)
- ▼コーチ 菊地政義(公民館)
- ▼選手 児玉幸子(児玉) 佐藤せい子(追分) 京谷歌子(天王) 渡部カネ子(児玉) 松村トキエ(児玉) 石場ツマ子(天王) 菊地トミエ(上出戸) 鈴木初江(児玉) 石川敬子(二田新町)

出戸開拓分館完成

出戸開拓分館が十一月十五日に完成し、二十一日盛大に完工式が行なわれた。本町では十二番目の独立分館で、地域民の社会教育施設として、町補助のほか地域民の理解ある協力で工費九十六万円でもできたもの。式では武田幸一組合長の経過報告に次いで、分館建設に貢献された出戸開拓農業協同組合、出口二三郎、佐々木吉之助両氏に天王公民館長より感謝状が贈られた。このあと菊地栄治郎分館長があいさつをのべ、町長、渋谷県議、教育長、公民館長の祝辞があり、式を閉じた。

今後はこの施設を中心に出戸開拓部落のしあわせをつくるための公民館活動が、さらに活発に行なわれるものと大きな期待がよせられている。

16ミリ映写機技術講習会

今年十二月三日、四日役場で

町公民館では視聴覚教育に関心をもち者と免許の更新者を対象に講習会を開くので、受講希望者は十二月十六日まで公民館事務局に申し込んでください。

我が町の財政

四十二年年度財政報告

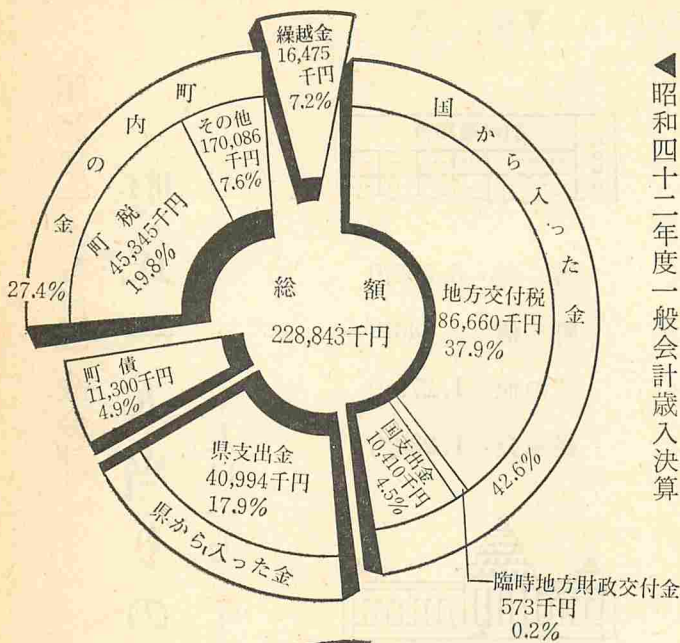
昭和四十二年年度決算臨時議会は十一月二十七日に開かれ、一般会計及び国民健康保険、簡易水道特別会計の決算を審議し、これを認定した。

一般会計

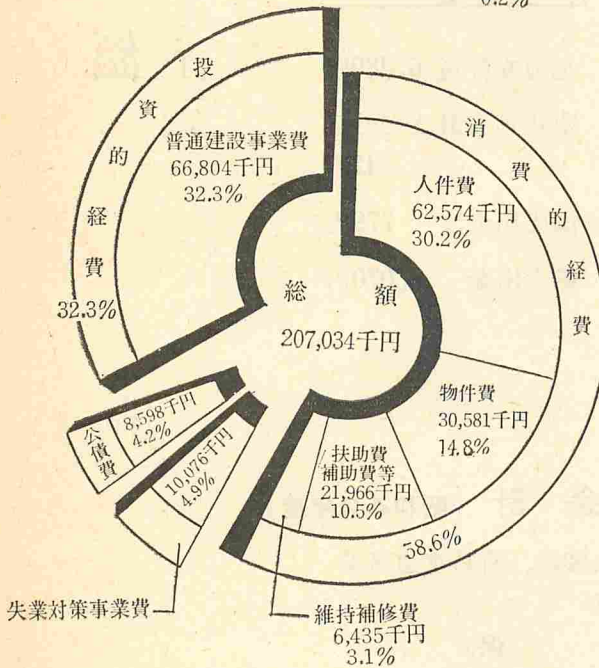
当初予算額は一億三千五百七十万三千円であったが、その後補正され、最終予算額は歳入歳出それぞれ二億一千八百九十七万五千円となった。

これに対して決算額は歳入二億二千八百八十四万三千円、歳出二億七百三十四万四千円を差し引き二千七百一十一万五千円の実質

一般会計二億七百三十四万四千円の内訳



昭和四十二年年度一般会計歳出決算目的別割合



事業名	事業費	事業内容・効果等
農業構造改善事業	31,330	二田地区区画整理事業 農道及び用排水完備
学校プール建設事業	5,800	25m、6コース及び補助プール付主として児童生徒の水泳の訓練、普及と水難防止
町単土木事業	11,457	町道中分水線舗装 延長762.4m 天王及び上二田駅ホーム延長工事費負担金4,700千円 その他小工事
天王分館建設事業	4,173	木造モルタル平家建 230m ² 天王地区公民館活動の推進の場としての役割を果す。その他地区の各種会合に利用
消防施設事業	1,958	可搬式消防ポンプ3台購入し、江川追分及び下出戸及び分団へ配置、防火貯水槽3ヶ所及び消火栓2基設置
県単土木事業負担金	2,690	男鹿昭和線(天王、児玉間)側溝改良2,400m 出戸浜線側溝改良 750m
県営農免事業負担金	1,912	湖岸地区 2,691m 路盤改良一部新設

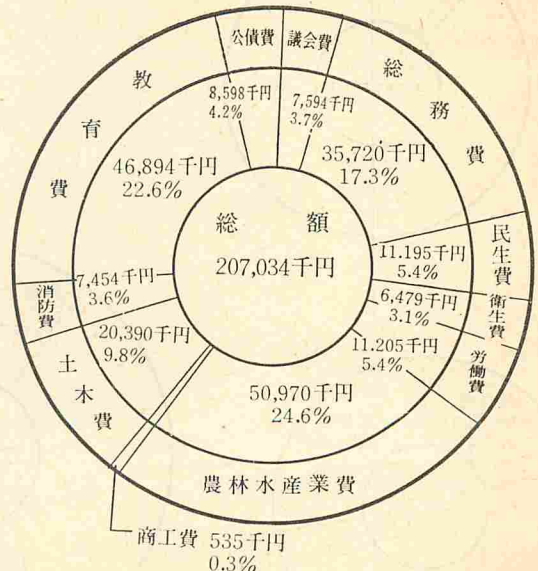
国保特別会計
歳入七千三百七十一千円に對し、歳出六千七百五十一万八千円を差し引き五百五十五万三千円の黒字となったが、単年度収支では百六十六万二千円の赤字となっている。

この赤字を解消するため来年

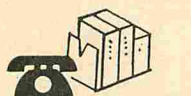
簡易水道特別会計
歳入が四百三十三万二千円、歳出四百二十九万六千円を差し引き三万六千円の黒字となったが、しかしこの黒字は前年度繰越金により達せられたものであり、単年度営業収益三百七十九万円で未だ五十万六千円の赤字となっている。

昭和42年度一般会計歳出決算性質別割合

四十二年のおもな事業内容



▼歳 出



総務費 2,675円



議会費 569円



土木費 1,527円



消防費 558円



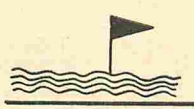
民生費 838円



農林水産費 3,817



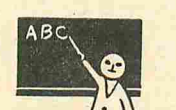
労働費 839円



商工費 40円

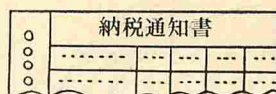


衛生費 485円
公債費 644円



教育費 3,512円
▶町民1人当り
… 15,504円

▼歳 入



町 税 3,395円

町 債 846円

その他 1,279円

繰越金 1,238円



地方交付税 6,489円

臨時地方財政交付金
42円

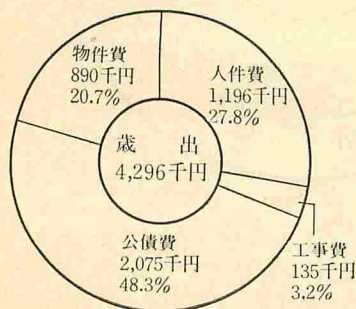
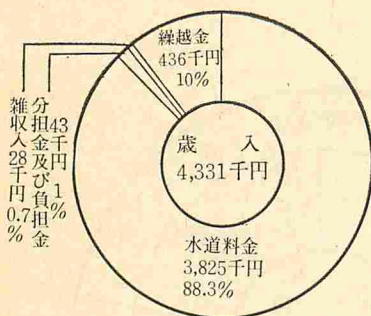
国支出金 779円

県支出金 3,070円

昭和四十二年一般会計
町民一人当りの額

(人口一万三千三百五十三人)

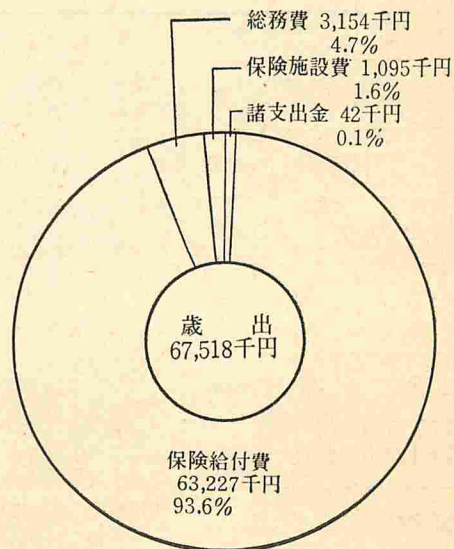
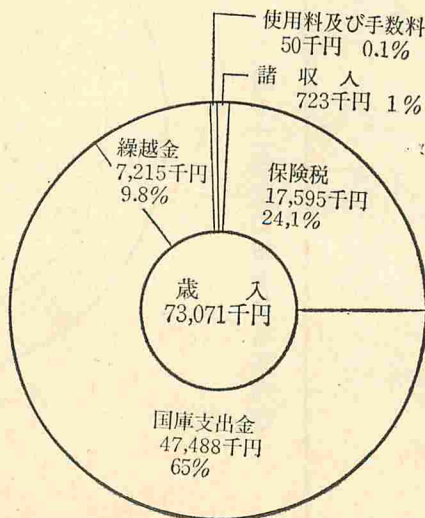
(水 道)



特 別 会 計 (昭和42年度)

国民健康保険事業、簡易水道事業
歳入歳出決算

(国 保)



祭 業 晴れの入賞者 第三回

入賞内訳
 △一等十九点 △二等三十九点 △三等八十点
 ▽計百三十八点
 ▽知事賞二点 ▽県中央会長賞二点

知事賞

【水稲】ヨネシロ三浦兼(大崎) 【きゅうり】鈴木ハギノ(上出戸) 【和梨】長十郎三浦貞雄(大崎)

県農協中央会長賞

【水稲】フジミノリ三浦茂子(中羽立) 【鶏卵】伊藤ミヤ(江川) 【ビン詰】洋梨大崎農友会

一等賞

【水稲】ヨネシロ三浦兼(大崎) 第三回(天王町産業祭)は天王小学校を会場に、農産物千八百五点を集め、十月三十日開幕、公民館の文化祭、商工会の商工展示会と合せて十一月一日までの三日間、盛大に開催された。

出品物千点をこす

受け付けは十月三十日午前九時から開始され、産業祭協力員などにより次ぎ次ぎに出品物が会場に運びこまれ、係員も陳列に大わらわだった。

産業祭の三日間

第二日(十月三十一日)は午前九時から二十二人の審査員が各部門に別れて審査を行なった。

入賞、百三十八点

この頃から一般参観者が会場に姿を見せ、収穫の秋を飾る数々の陳列品にジッと目を注ぐ。グループ連れの何人かが感心し批判し合う。風景があちこちの会場に見られ産業祭の意義がしのべれた。

【農産加工】和梨三浦農友会(大崎) 【日常食】かぶのクリーム煮八葉会(渋谷) 【水稲】菅生秀男(中羽立)菅生作治(中羽立)目黒久治(羽立)三浦吉信(大崎) 【玄米】ヨネシロ菊地カネ(上出戸) ハツニシキ渋谷谷与一(渋谷) 【葉たばこ】パーレー松村スノ(児玉) 【和梨】長十郎三浦貞雄(大崎)三浦ケイ子(大崎) 【大根】秋田大根池端藤市(追分西) 【長いも】佐々木肇(下出戸) 【かんらん】浅野チマ子(二田) 【メロン】佐々木肇(下出戸) 【きゅうり】鈴木ハギノ(上出戸) 【ピーマン】加賀谷フサ子(下出戸) 【甘しょ】菊地栄治郎(出戸開拓) 【タマゴ】伊藤ミヤ(江川)米谷修作(天王)児玉惣治(天王) いずれも昨年よりも出品物の品質が向上しており、どの審査員も真剣な面持ちで選別に慣れた手さばきを見せていた。 結局一等賞十九点、二等賞三十九点、三等賞八十点が入賞した。

二等賞

【水稲】菅生秀男(中羽立)菅生作治(中羽立)目黒久治(羽立)三浦吉信(大崎) 【玄米】菊地憲子(上出戸)出口二三郎(出戸開拓) 【小豆】谷金之助(二田) 【葉たばこ】海老沢勝治(二田)

三等賞

【和梨】三浦治雄(大崎)三浦貞雄(大崎)三浦実(大崎)三浦勇吉(大崎)吉田吉治郎(大崎) 【大根】渡部由五郎(児玉)上村利蔵(二田) 【長いも】佐々木ツサ(下出戸) 【ゴボウ】池端健一郎(追分西) 【セリ】佐々木幸吉(下出戸) 【ネギ】松村キヨ子(児玉) 【かんらん】船木兼太郎(蒲沼) 【ほうれん草】村上寿(二田新町) 【春菊】佐々木良子(下出戸) 【メロン】佐々木フサ(下出戸) 【きゅうり】鈴木慶次郎(上出戸) 【菊地石太郎(上出戸) 【トマト】加賀谷久治郎(下出戸) 【ピーマン】三浦猛(大崎上) 【かんしょ】菊地栄治郎(出戸開拓) 体育館では授賞式を行ない、審査報告のあと大崎の三浦兼さんらが授賞され、藤原町長のあいづのあと、県知事(代理)、京谷議長、佐々木農協組合長、渋谷県会議員などから祝辞があった。授賞式のと郷土民謡の演芸があり、授賞者や参観者の耳をたのしませ多彩な三日間の産業祭の幕を閉じた。

健康管理

カゼに強くなる法

インフルエンザも、ふつうのカゼも感染したウイルスが、からだの抵抗力が弱ったときにつけてこんで病気を起こすのですからカゼを防ぐためには、まず抵抗力をますことが大事です。

●冷水、乾布まさつ

これらはいずれも皮膚をきたえ、抵抗力をます効果があります。寒い戸外へ出て、エイヤツと勇ましくやるのもいいのですが、朝、寝床の上でちよつと肌ぬきになるだけでも効果がありません。

●これらはいじめめる人は徐々にや

【キウリ】菊地三郎(上出戸) 【トマト】鈴木昇(上出戸) 【ピーマン】児玉梅之助(児玉) 【かぼちゃ】鈴木翠(二田二区) 【大賞美貴子(細谷)】 【キク】保坂竹男(二田二区) 【かんしょ】菅原明子(細谷) 【馬鈴しょ】菅原明子(細谷) 【馬鈴しょ】柏崎テツノ(天王) 【白さい】藤原敬子(江川上) 【キウリ】笹海紀男(上出戸) 【加賀谷忠蔵(下出戸)】 【トマト】加賀谷テイ(下出戸) 【ピーマン】菊地栄治郎(出戸開拓) 【春菊】鈴木キエ(二田二区) 【青菜】中村ミエ子(二田二区) 【たまご】上坂勇三(天王)米谷修作(天王)菅生清(大崎) 鎌田勝蔵(天王)鈴木末吉(羽立)鈴木三蔵(羽立)山田魯平(鶴沼台)渡部勝美(二田)石黒ナカ(天王)三浦四蔵(大崎) 後藤一志(二田一区)菅生清(大

ることが大切です。ただし、高血圧、心臓病、気管支ぜんそくなどの病気のある人はやめてください。

●温度の変化に気をつけよう

家庭生活でも衣服のコントロールをためにしてください。

●汗のあとしまつをしよ

かいた汗が蒸発するときは、いっしょにからだの熱がうばわれます。これはカゼをひく誘因の一つになります。

●職場の休けい時間のリクリエーション

運動でかいた汗は、そのままにしておかず、タオルでふくように、からだで汗をかかずにはいけません。

●不必要な外出をさげよ

人ごみや、映画館、デパートの中といったところには、ウイルスを含んだ粒子が多くうかんでおり、吸いこむ機会が多くなります。とくに流行しているときは、老人、子どもの必要な外出はさげましょう。

●ウガイをしよ

てんじょうを向いてガラガラとていねいに数回やらないと効果はありません。

●不節制をさげよ

からだの抵抗力を落すいちばんのものは不節制です。

●家庭生活でも衣服のコントロール

【農産加工】大崎農協婦人部(大崎)三浦スナ(大崎)農友会(大崎)三浦キエ(大崎)伊藤徳子(江川)吉田ミツヨ(大崎) 【栄養料理】大野ツヤ(天王)菊地ナツ(児玉)児玉チヤ(天王)大野ツヤ(天王)菊地トメ(出戸開拓)八柳智恵(天王) 寝る前にお出かけ前に、もう一度火の元の点検をしましょう。

